

加美農業高等学校

校訓 耕心



1 基本データ

創立：明治33年
課程・学科：全日制課程・農業科、農業機械科、生活技術科
生徒数：136名
所在地：〒981-4111
加美郡色麻町黒沢字北條 152
TEL：0229-65-3900
FAX：0229-65-3901

ホームページアドレス：
<https://kamino-h.myswan.ed.jp/>
電子メールアドレス：
kamino-h@od.myswan.ed.jp
主な交通機関
◆宮城交通バス「色麻町役場前」より車で約10分
◆JR陸羽東線 西古川駅より車で約20分

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

Enjoy 加美農 ～植物・動物と共に

「3つの教育施設」校舎・耕心寮・農場で確かな力を養います

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

本校は明治33年に設立、明治34年に現在の宮城県中新田高等学校の地で開校し、今年度創立123年を迎える伝統ある高校です。全国に数ある農業高校の中で、昭和39年に、文部省より第1号農業自営者養成高等学校(パイロットスクール)指定の内示を受け、昭和40年に発足しました。昭和48年には普通科を宮城県中新田高等学校として分離独立させ、農業専門の高校として色麻町に移転し現在に至っています。

専門教育においては、教育環境や教育設備に恵まれ、コンピュータや自動制御技術、そしてバイオ技術など、最先端技術を積極的に取り入れた教育を行っています。

東京ドーム17個分の広大なキャンパスは、全国第2位の広さを誇っており、自然に恵まれ、落ち着いた環境で高校生活を送ることができます。

また、本校の大きな特色に寮教育があります。1年生は必ず義務入寮を経験しますが、遠隔地通学生などの中で希望する生徒は3年間の入寮が可能です。耕心寮は平成7年に新築され、明るく近代的な設備を有し、年間を通じて70人程の生徒が在寮しています。規則正しい寮生活の中で、互いに切磋琢磨し、基本的な生活習慣や自主性、協調性を培いながら、楽しく和やかな寮生活を送っています。

(2) 教育方針

<校訓>

『耕心』

それは飽くなき文化への

憧れと創造を意味する

それは豊かな人間性の開発を意味する

それは強い意志の鍛錬を意味する

そしてそれは人生への日々新たな

希望と喜びとの指標でもある

<教育目標>

- (1) 高い志を持ち、自ら意欲的に学ぶ生徒の育成
- (2) 情操豊かで、心身ともに健全な品格ある生徒の育成
- (3) 社会性を身につけ、地域を支える人材の育成

(3) 教育課程の特色

農業科は、農業生産や流通・環境や情報に関する基礎的な知識と技術を習得させ、農業の経営者及びこれらに関する業務の技術者として必要な能力・態度を育成します。

農業機械科では、農業機械の学習をとおして整備並びに機械加工の知識と技術を習得させ、農業をはじめとする地域産業の発展を技術者として支える人材を育成します。

生活技術科は、農業生産と家庭経営に興味・関心を持ち、心豊かな生活を実践し、地域で活躍できる能力や態度を育成します。

(4) 行事・生徒会活動・部活動

主な学校行事として、校内意見発表会、全校田植え、収穫感謝の会、加美農祭、農業学習発表会、修学旅行(2学年)があります。また、昭和63年から韓国の水原農生命科学高校との交流を積極的に展開し、隔年で訪問と招請を続け、深い友情を育み、異文化について学んでいます。

部活動は、各部とも地区大会や県総体、各種大会での上位入賞を目指し熱心に練習を重ねています。特に相撲部は、これまでに県総体団体戦で16回の優勝を果たし、インターハイや国体など全国大会に出場しています。昨年度は県総体と県新人大会において、体重別個人戦80kg級・100kgで第1位、県総体の個人選手権において第3位に入賞し、東北大会、インターハイ、国体の上位大会に出場しました。

生徒会活動では、学校行事の企画運営や挨拶運動、募金活動等に積極的に取り組んでいます。中学生対象のオープンキャンパスでは、生徒会が中心となって学校紹介イベントや学校案内を行っています。また、近年では毎年2月に加美町で開催される「うめえがすと鍋まつり」に参加しており、相撲部直伝の塩ちゃんこ鍋は行列ができるほどの人気です。様々なメディアにも取り上げられ、校外で幅広く活躍しています。

(5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R4	R3	R2
大学	6	4	3
短期大学	1	0	4
専各学校	9	11	13
就職(県内)	35	46	51
就職(県外)	12	12	0
その他	4	1	0
卒業生計	67	74	71

主な進路先(令和5年3月卒業生、
()内は人数 (1)は省略。

<私立大学>

東京農業大学(2)、酪農学園大学(2)、仙台白百合女子大学(2)、宮城誠真短期大学

<専修各種学校>

宮城県農業大学校、大崎市高等技術専門校、仙台高等技術専門校、山形県立農林大学校、専門学校東北動物看護学院、仙台リゾート&スポーツ専門学校(2)、仙台こども専門学校、仙台ビューティーアート専門学校

<就職>

IHミートソリューション、日本ファインセラミックス、精工、アスカカンパニー、アイネット、NTKセラテック、プライムアース(4)、山崎製パン、本橋製作所(2)、イズミテクノ、トヨタ紡織、東北松金工業、RSテクノロジー、宮城NOK、サンエーテック、トヨタ自動車東日本、白石食品工業、伊藤ハムデリー、栗駒森林組合、東日本グローイング、フォレストリーダイワ、第一貨物(3)、オイデック、九十九サービス、華桜会(2)、旭工業、希望館アミーゴ、タカカツ建材(2)、新幹線リフテクノロジー、エネオスフロンテア東北、宮城ヤンマー商会(2)、岩出の郷、やくらいサンホーム、ABCマート、ヨークベニマル、あいのや、マックスバリュ南東北、自衛官候補生

3 学校魅力発信

(1) 本校生徒の活躍

《高校生地産地消お弁当コンテスト》

食材王国みやぎで開催している令和4年度高校生地産地消お弁当コンテストで、優秀賞とWEB投票特別賞をダブル受賞しました。

また、本校の「みやぎ umami 感じる香り弁当」は、県内のイオンさんとミニストップさんの各店舗で、一般販売され大好評でした。



《エコラン》

エコランとは、自動車メーカーのホンダが主催する競技大会で、1Lのガソリンで何km走行できるかを競います。

本校では、手作り自動車を製作し、エンジンのセッティングや効率の良い運転方法などを研究して、大学や専門学校も参加する中、上位入賞を果たしています。



(2) 学校行事

《全校田植え》

それぞれのクラスが、自分たちの持ち味を発揮しながら田植えを行います。速さだけではなく、植え方のきれいさ、クラスのみどりなどを総合的に判断し、審査が行われ順位がつけられます。

令和4年度は農業科3年生が第1位となりました。作物班として3年間米作りに関わっている生徒も多く、今回の準備や運営においても中心的な役割を果たした生徒の多いクラスでした。農業科としてプライドを持って取り組んでいる姿が印象的でした。



《文化祭》

令和4年度は、テーマ「Eternal memories～最高の思い出を最高の仲間とともに～」のもと、一般公開が3年ぶりの開催となりました。

今年度は、令和5年10月27日(金)、28日(土)の2日間加美農祭が開催されます。28日(土)の一般公開日には、リンゴやネギ、米や花などの農産物販売、鍋祭りで500人の行列をつくる相撲部塩ちゃんこ鍋の模擬店などを企画しております。ぜひご来場ください!



《収穫感謝の会》

収穫感謝の会を行いました。令和4年度は各クラスの代表が調理室に集まって調理を行い、生徒・教職員みんなで収穫物に感謝しながら昼食をとりました。感染対策を行いながらの実施のため黙食や距離に気を遣いながらの会となりましたが、全員で同じものを食べることの喜びを再確認した行事となりました。午後には各部門から収穫状況等の報告会を行いました。



(3) 韓国交流

平成3年6月に水原農生命科学高校と姉妹校の締結を行い、その後、隔年で訪問と招待を行っています。長年、有意義な交流を続けており、両校のみならず日韓両国の親善と友好の関係を深めています。

今年は、久しぶりに対面での交流ができるように計画を練っています。



(4) 寮紹介

本校の大きな特色の一つとして寮教育があります。各学科の1年生は6カ月間の義務入寮があり、遠隔地通学の理由などで希望する生徒は3年間の入寮が可能です。規則正しい寮生活の中で、互いに切磋琢磨し、基本的な生活習慣や自主性、協調性を培いながら、楽しく和やかな寮生活を送りましょう。



寮生会長(小野寺 龍神さん 栗原南中出身)

耕心寮には、他の高校で体験できないような生活が待っています。寮生活では、学校生活以上に他学年の生徒と多く関わり、様々なことを学ぶことができます。また、スポーツ大会や寮祭など、たくさんの行事があります。私はこのような行事で先輩や後輩との仲を深めることができました。寮は人との関わりを自分自身の成長につなげることができる場所でもあります。加美農業高校の耕心寮で学び、成長してほしいと思います。

(5) 学校制服紹介

男子はストライプのボタンダウンのシャツに濃紺のブレザーとズボン、女子は白のシャツに濃紺のブレザー。紺と白のタータンチェックのスカートがポイント。また、女子用はスラックスやネクタイも選択できます。



4 在校生からのメッセージ

農業科(南部 涼介さん 八木山中出身)

農業科には、6つの専攻があり、私はその中から作物を選びました。作物班では、お米の栽培、収穫、販売を体験し、お米を育てる段階からお客様の手に届くまで、一連の流れを学ぶことができます。また、プロジェクト学習では、AS I AGAPやアグリノートを使用したスマート農業など、高品質・最先端の農業技術に触れることができます。その他、加美農には、農業と食と命に関する行事がたくさんあり、これからの農業の可能性について探求できる環境が整っています。皆さんも、加美農で新しい自分を発見してみてください。

農業機械科(黒澤 翔夢さん 小野田中出身)

農業機械科は、様々な資格を取得できたり、実習を通して機械系について学んだりできるなど、本学科でしか経験できないことがたくさんあります。専門的な知識を身につけることができ、就職に有利であるという点が農業機械科の特徴です。私は最初、農業機械科の活動にあまり興味をもてませんでしたが、エンジンの構造やトラクターの操縦、溶接などの経験を重ねるうちに、どんどん楽しいと感じるようになってきました。ぜひ皆さんも加美農業高校の機械科でいろんなことを学んでみませんか。

生活技術科(千葉 ひなかささん 古川中出身)

私たち生活技術科は、主に、調理、被服、保育について学びます。調理では、メインとなる主食や主菜、さらにデザートまで、幅広く調理をします。保育では、壁画や季節をモチーフにした貼り絵の作成をしたり、伴奏しながら歌ったりします。被服では、ハーフパンツやブラウス、甚平や浴衣など、幅広いジャンルの服を作製します。最初は慣れずに悪戦苦闘していましたが、学年が上がるにつれ上達していきます。是非、加美農で新たなスキルを身に付けましょう!